

## 2018 年実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座 《講義録3限目》

### 《講座のメインテーマ》

防災・減災は地域の取り組みが  
決め手！その具体的な進め方

記録：講座協力委員 紅林敏行

◆開催月日：2018 年 10 月 25 日(木) 13:30~17:00

◆開催場所：KU ポートスクエア

### ◆本日のテーマ◆

・前半：『阪神淡路大震災時の神戸市立鷹取中学校、近藤校長の  
生々しい避難所運営の葛藤ビデオを見る。』

撮影編集解説：石塚 道義 氏（危機管理アドバイザー・防災士）

・後半：『前半のビデオについてグループ討議し、避難所の運営について考える』

進行：早川 雅子 氏（横浜市都筑区災害ボランティアコーディネーター）



上下写真：講義の様子

### 《人と人の繋がりが大事！》

- 五感を最大限に活用し想像力を働かせて減災に努める。
- 備えてガッツ精神も身につける。
- 防災組織の中でインターネットが活用できるように。
- 防災訓練は子供が参加したくなるような工夫を。
- 避難所には国際的に定められた『防災基準』がある。  
避難所の環境改善を国に求めています！



講師：石塚道義氏



### 《人々を救ったのは、人の心》

- 鷹取中学校 避難者：4,689 名 期間：230日間。
- 6名の教師と生徒10数名で避難所の運営開始。
- 全ての出来事を校長が判断せざる得ない環境。
- 生きるか死ぬかになると差別意識が出てくる！  
社会的に弱い高齢者や心身障害者、外国人への差別。
- 子供の声掛けから差別感も無くなった。
- 避難所運営にはルールが必要。
- 「活力のあるまちの組織」なら避難所の運営も円滑に。
- 地域の中で子供たちを活かして欲しい！

### 第3回アイスブレイク『地質図で調べてみよう あなたの家、町の地盤』

- 日本列島の誕生
- フォッサマグナ  
大きな(フォッサ)さけめ(マグナ)
- 鷲山流横浜地形左手モデル  
凸とは持ち上がった海底部。凹は  
大小の川を中心として浸食された  
谷(鶴見川・帷子川・大岡川・  
柏尾川)。ランドマークタワーは横浜  
沿岸でも一番地盤の良いところ。



鷲山龍太郎さん

### 『グループ討議・発表』 テーマ：避難所の運営（前半【避難所HUG】(防災ゲーム)を体験）



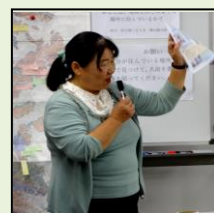
担当：早川雅子さん



6グループに分かれた討議の様子

### 《グループ発表から抜粋》

- HUGのカートにあった「バスで乗り付けた多数の避難者」、「避難にきた外国人」の避難所受入れでは  
いろいろな意見があった。避難所の収容人数を越えた場合の対応も課題に。
- 「自宅で避難生活を送れる人は避難所に避難しない」ことを実現することが課題。
- 防災・減災の学校教育が大事。東京一極集中の解決は、必要。
- 鷹取中学校の校長の様なりが避難所には必須。被災1週間後に神戸の避難所を  
訪問する機会があったが、自主組織が立ち上がった避難所は区割り等がされていた。
- 商店街では火災が心配。どのように避難するのが安全か？声掛け、助け合う、  
日頃からの顔の見える関係づくりが大事。
- 防災拠点の避難訓練は実践的ではない。避難所運営にも同様。
- 地域によって取組みに差異がある。疲れ気味、盛り上がりがない自治会も。



総司会：山田美智子さん